

製品・サービス動向-国内

■キヤノンマーケティングジャパン：プロジェクターや会議システムを活用した空間共有ソリューションを発売

(11月10日)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (<http://cweb.canon.jp/corporate/>) (東京都港区)は、遠隔地間で一体感のある双方向コミュニケーションを可能にする3種類の空間共有ソリューション「インタラクティブコミュニケーションセット」を11月中旬より順次発売する。



Interactive Communication Set Type Wall 使用イメージ (キヤノンマーケティングジャパン)

インタラクティブコミュニケーションセットは、教育現場やビジネスシーンにおける遠隔地間の臨場感のあるコミュニケーションや多拠点間の資料の共有、ガラス面を使用したデジタルサイネージなど、空間を共有する環境を提供するシステムセット。

用途に応じて3種類のシステムセットを提供する。

(1)「Interactive Communication Set Type Wall」：2面の壁に映像投写することで、奥行き感のある立体的な空間を創出する。遠隔地間での議論も同じ空間にいるように進行できるため、同じ場所に集まる移動時間や費用が省ける。離れた拠点間での会議や、遠隔授

業などの用途に対応する。基本構成2拠点の価格は500万円から。11月下旬発売予定。

(2)「Interactive Communication Set Type Desk」：設計図面などの資料を机に大きく投写し、投写映像に直接書き込みながら2拠点間で会議をすることが可能となっている。資料と2拠点間の様子を同一の映像で共有しながら理解度を高めて議論できる。設計図面の共有などの用途に適しており、製造業や建設業の設計業務の生産性向上を支援できる。基本構成2拠点の価格は100万円から。11月中旬発売予定。

(3)「Interactive Communication Set Type Window」：電源の切り替えにより投写面の透明・不透明を選択できる電極付きフィルムを使用し、透明ガラスを瞬時に情報発信スペースに切り替えることが可能。昼間は窓ガラス、夜間は広告スペースとして使用するなど時間帯に応じた販売推進活動などに利用できる。80インチのフィルムスクリーンを使用した場合の価格は200万円(税別)となっている。12月下旬発売予定。

■パナソニック システムネットワークス：ビデオ会議システム「HD 映像コミュニケーションシステム HX-VC2000J」を発売

(11月11日)

パナソニック システムネットワークス株式会社 (<http://panasonic.co.jp/avc/psn/>) (東京都中央区)は、ビデオ会議システム「HD 映像コミュニケーションシステム」の新モデル「HX-VC2000J」を12月2日より発売する。価格はオープンで12月発売。



(リモコン付属。専用カメラ、マイクは別売り)

ビデオ会議システム「HD 映像コミュニケーションシステム」KX-VC2000J

(パナソニック システムネットワークス)

KX-VC2000J は、内蔵 MCU による 16 拠点接続機能を搭載し、さらにオプション (VC2000J 用 4 地点拡張キー) の追加で、業界最多最大 24 地点までの多地点接続が可能となっている。フル HD でのコミュニケーションが可能なビデオ会議システムで、高額な MCU を別途必要とせず本装置内蔵 MCU のみでの 24 地点接続は同社によると業界最多(11 月 11 日現在)という。

2 点目の特徴は、2 つの LAN ポートを搭載し、社内ネットワークと社外ネットワークをデュアルに接続することが可能となっているところ。

通常、外部接続には、高額な機材やシステムが必要になるが、同社が提供する HD 映像コミュニケーションシステム接続専用サービス「つながるねっと」を利用することで、外部からの接続を実現する。

これにより、社外接続に必要な高額な機材への投資が不要。加えて、社内とのネットワーク接続が困難な、出張先や社外取引先などの接続にも有効という。

3 点目は、マルチデバイスに対応(別途オプション)。Windows、iOS、Android 搭載のパソコン・スマートフォン・タブレット等の端末からの接続も可能にするソフトウェア「HD コムモバイル」に対応した。HD コムモバイルを使うことで、時間や場所にとらわれない利用が行える。社内イントラはもちろん社外からも、つながるねっとサービスで接続が可能となっている。

4 点目は、異速度伝送に対応。本製品 KX-VC2000J と Windows、iOS、Android 搭載端末などのマルチデバイス各端末との接続においては、接続する端末の通信帯域や性能に合わせて最適画質で運用することができるようになっている。

接続端末に応じた設定を事前にするすることで、最も通信速度が遅い端末の通信帯域に、接続している全ての端末が影響されることなく、各端末の通信環境に合わせて HD 画質や SD 画質混在での接続が可能。

以上のほか、フル HD1080p/60fps のきれいでスムーズな画質や、デュアルモニター・トリプルモニター表示などにも対応している。

■ ブイキューブ: Web 会議サービス「V-CUBE ミーティング」で自動音声リアルタイム翻訳機能 (ベータ版) を追加

(11 月 4 日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、Web 会議サービス「V-CUBE ミーティング」の自動音声リアルタイム翻訳機能を、11 月 3 日よりベータ版として提供開始する。

自動音声リアルタイム翻訳機能は、国際間での会議や打ち合わせ、研修などで、利用言語が異なる参加者間の円滑なコミュニケーションを実現する。



自動音声リアルタイム翻訳機能の利用イメージ (ブイキューブ)

企業のグローバル展開にともなって、多言語で Web 会議サービスを利用するユーザーを中心に、自動音声リ

アルタイム翻訳へのニーズが高まると同社では考えている。

Web 会議中の音声の文字表示と、指定した言語への自動リアルタイム翻訳が可能となっており、日本語・英語・中国語・フランス語など 11 言語を、日本語・英語・中国語・フランス語など 50 言語以上に翻訳が可能となっている。また、接続拠点ごとの発話が個別にテキスト化されるため、どこの拠点が発言したのかわかりやすい。加えて、リアルタイム翻訳時のテキストは保存が可能となっている。

ベータ版提供の目的は、実用化に向けた検証を進めていくため。「V-CUBE ミーティング 5」を契約している顧客に本機能ベータ版を無償提供する。

なお、音声認識と自動翻訳のエンジンには、株式会社 アドバンスド・メディア (<https://www.advanced-media.co.jp/>) (東京都豊島区) の音声認識技術「AmiVoice (網ボイス)」と、マイクロソフト (<https://www.microsoft.com/ja-jp/>) のディープラーニング (機械学習) をベースにした「Microsoft Translator」を採用している。

■サンワサプライ：テレビ会議システムなどの機器一式をまとめて収納できるスタンドを発売

(PRTIMES：11月10日)



機器収納スタンド「CR-TVM1」(サンワサプライ)
サンワサプライ株式会社 (<https://www.sanwa.co.jp/>)
(岡山市北区) は、テレビ会議システム用の機器一式

をまとめて収納できるスタンド「CR-TVM1」を発売した。

CR-TVM1 は、テレビ会議用のカメラや本体に加えて、マイク、リモコン、接続ケーブルなど周辺機器をまとめて設置できるため、テレビ会議の準備や片づけがしやすくなっている。また、機器一式をテレビスタンドの下に収められるため省スペース化を図れる。

天板の高さは 800mm～950mm 間で変更が可能で、テレビスタンドの高さや全員の顔が見える位置や全体を俯瞰できる位置などへ高さに合わせてテレビ会議用のカメラを設置できるようになっている。

また、棚板を 3 枚装備しており、幅 450x 奥行き 250mm と幅広い上に、耐荷重 10kg と高重量にも耐えられる設計となっているため、テレビ会議システムの周辺機器のほかに、ブルーレイ・DVD プレーヤーなどの映像出力機器も同時に搭載できるようになっている。棚板を 4cm まで前方にずらして設置できるため、奥行きのある機器でも安定して搭載できる。

一方、支柱は中空になっており、多数の機器を搭載した場合でも各種ケーブルを隠すことができ、キレイに配線を行える。また、支柱の背面は取り外しが簡単なバックパネルになっており、ケーブル配信などのメンテナンスもしやすくなっている。サイズは幅 500x 奥行き 390x 高さ 800～950mm。重量は 13.3kg。

CR-TVM1 の標準価格は 39,800 円 (税別)。

ビジネス動向-国内

■IJJ グローバルソリューションズ：徳島大学の遠隔栄養指導の実証実験にビデオ会議サービス「COLLABO de! World」を提供

(11月1日)

株式会社 IJJ グローバルソリューションズ (<http://www.ijjglobal.co.jp/>) (東京都千代田区) は、徳島大学 先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター (以下、同研究開発センター) が実施する糖尿

病患者に対する遠隔栄養指導の実証実験に参加し、クラウド型ビデオ会議サービス「COLLABO de! World(コラボ デ ワールド)」を提供すると発表。

徳島県では、「とくしま(健幸)イノベーション構想」を掲げ、県をあげて糖尿病の克服と健康寿命延伸を目指す取り組みを行っている。同研究開発センターでは、その取り組みの一環として、喫緊の課題である管理栄養士の偏在を補うため、糖尿病患者に対する管理栄養士との面談をビデオ会議で行う「遠隔栄養指導」の実現を目指す。従来の対面式による個別栄養指導との比較検証を目的とした臨床研究を行い、遠隔栄養指導プログラムを開発する。

そのため、同研究開発センターでは、COLLABO de! World を利用し、遠隔栄養指導が対面式と比較して日劣性であることを検証するための実証実験を 11 月より実施し、その実験結果をもとに遠隔栄養指導の実用化を目指す。

遠隔栄養指導によるメリットとしては、人的資源の地域偏在を補完し、糖尿病患者の多くが必要とする栄養指導を効率的に受けることが可能になるという。

IIJ グローバルは、産学官連携プロジェクト「COLTEM」へ参画(同社から 2014 年 7 月 9 日発表)し、遠隔診断の支援を行ってきた。この実証実験においても COLLABO de! World を無償で提供し、医療の現場におけるビデオ会議の有用性や新たな利活用の可能性について検証するとともに、さらなるノウハウを蓄積することで、今後も ICT の側面から医療支援を行っていく考えだ。

株式会社 IIJ グローバルソリューションズは、株式会社インターネットイニシアティブ(東京都千代田区)の 100%子会社で法人向け WAN サービス事業等を展開する会社。

Report

※CNAレポート・ジャパン橋本啓介による検証・取材レポート

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証(前編)

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証(後編)

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニア VC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社バイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介～

日時：11月・12月

会場：東京都・大阪府・愛知県・三重県・静岡県

主催：株式会社バイキューブ

詳細・申込：

<https://jp.vcube.com/event/seminar/201606151900.html>

※その他セミナー情報：<https://jp.vcube.com/event/seminar/>

■VTV ジャパンクラウドセミナー【注目度 No.1! 世界で浸透するビデオ会議クラウドサービス!!】

日時：11月16日(水)・17日(木)・18日(金)

各日 15:00～

会場：VTV ジャパン 東京オフィス・大阪オフィス同時開催

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1611vtv/>

※「Lifesize Cloud」と「BlueJeans」の紹介。

■ポリコム オンディマンド Webinar ポリコムのマイクロソフト連携紹介

第一回 Webinar(所要時間：31分)

「これまで以上のビジネスをポリコムでシンプルに実現」

第二回 Webinar(所要時間：41分)

「ポリコムとマイクロソフト SfB ソリューションのネイティブ連携 - 利点と実現方法」

第三回 Webinar(所要時間：34分)

「Office 365 環境におけるポリコムとマイクロソフト SfB

ソリューションのネイティブ連携」

会場：オンラインで視聴

詳細・申込：

<http://www.polycom.co.jp/forms/microsoft/skype-for-business-webinar.html>

■Polycom Webinar：働く人すべてを対象としたテレワークの実現とそのメリット

日時：11月29日(火) 10:00～ (所要時間: 30分程度を予定)

会場：オンライン

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■Are you ready for Skype for Business? Skype for Business、Office 365 環境におけるポリコムとマイクロソフト ソリューション

日時：12月6日(火) 10:00～ (所要時間：50分を予定)

会場：オンライン

主催：ポリコムジャパン株式会社

内容・詳細：

<http://response.polycom.com/01-JP-E-PS-2016-Q4-PolycomWebinarMSSolution.JP-LP>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材に基づく記事)ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト (dte-forum)

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年:

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年:

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作: カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年11月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp